

平成20年4月15日

各 位

会 社 名 株式会社テン・アローズ
代表者名 代表執行役社長 林 勝哉
(コード番号 9885 大証第二部)
問合せ先 統括部長 田 中 成 和
TEL (078)792-7414

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社において特別損失を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、これに伴い、平成19年11月15日に公表いたしました個別業績予想と平成20年2月15日に公表いたしました連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(連結業績予想に影響を与える特別損失の発生)

商品自主回収損失

レディースインナー等卸売事業におきまして、当社子会社である株式会社シャルレが販売する商品を掲載しております商品カタログ等において、一部商品（肌着、タオル、ソックス、ボディースーツ等）の特長等の表記誤りが判明しました。

平成20年2月6日付の新聞各紙及び当社ホームページ（www.ten-arrows.com）等で商品表記誤りのお詫びと返品・返金の対応について公表し、当該商品をお持ちの代理店・特約店で返品をご希望される場合には、返品・返金の対応をすることとし、商品の組成表示の表記誤りにつきましては、在庫の全部を補修することといたしました。また、当該商品をお持ちのお客様は、そのままご使用いただいても問題ありませんが、返品をご希望される場合には、返品・返金の対応をすることといたしました。

これらの対応により発生いたしました商品の返品に対する返金348百万円、告知費用154百万円、その他の諸費用を商品自主回収損失として538百万円を計上することといたしました。

(個別業績予想に影響を与える特別損失の発生)

関係会社株式評価損

当社の子会社である株式会社エヌ・エル・シー コーポレーションにつきましては、前期に屋上緑化事業から撤退し、当期は旧事業の整理と新規事業（Uペン事業：録音・再生機能ペン事業）の準備を進めておりますが、その財務状態等を鑑み当社の保有する子会社株式を実質価額まで評価減し、関係会社株式評価損84百万円を計上することといたしました。

また、当社の子会社である株式会社トランスメソッドにつきましては、当期にIT支援事業から撤退し、既存事業（EC事業：ベビー、キッズと家族のライフスタイル関連商品のインターネット通販事業）の強化に取り組んでおりますが、その財務状態等を鑑み当社の保有する子会社株式を実質価額まで評価減し、関係会社株式評価損268百万円を計上することといたしました。

2. 平成20年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	46,100	2,210	2,460	△1,860	円 銭 △95.97
今回修正予想 (B)	46,350	2,550	2,820	△1,890	△97.52
増減額 (B - A)	250	339	360	△30	△1.55
増減率	0.5	15.4	14.6	—	—
前期(平成19年3月期)実績	54,570	518	873	△2,545	△131.34

3. 平成20年3月期通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,620	730	940	△1,600	円 銭 △82.56
今回修正予想 (B)	1,620	790	940	△1,980	△102.16
増減額 (B - A)	0	60	0	△380	△19.60
増減率	0.0	8.2	0.0	—	—
前期(平成19年3月期)実績	5,601	437	693	△4,477	△231.01

4. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正の理由

通 期

売上高につきましては、平成20年2月15日に公表いたしました予想を46,350百万円に修正いたします。

利益面につきましては、レディースインナー等卸売事業で、見込みよりも売上高がやや増加し、在庫評価減が減少したことに加え、販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、営業利益を2,550百万円、経常利益を2,820百万円に修正いたします。

当期純損失につきましては、前述の特別損失538百万円の発生があったものの、経常利益の増加と税効果等の影響により、1,890百万円に修正いたします。

(2) 個別業績予想の修正の理由

通 期

売上高につきましては、平成19年11月15日に公表いたしました予想どおりの数値となる見込みです。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費が減少したため営業利益を790百万円に修正いたします。経常利益は、営業外費用が増加したことで予想どおりとなる見込みですが、当期純損失につきましては、前述の特別損失の発生により1,980百万円に修正いたします。

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

以 上